



小平町議会
議長 藤田 貢

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成28年の新春をこうして町民の皆さんと共に迎えることができましたことを心よりお喜び申し上げます。

皆さんには日頃より当議会に対し暖かいご理解とご協力をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は町を代表する農作物の水稲が、9月中旬以降の降水量が多く、影響が心配されておりましたが、収穫作業が遅れたことで米粒が大きく育ち、留萌管内にあつては作況指数103となりました。

漁業においては、海獣による刺網の漁具被害、カレイ類、タコなどの漁獲物の被害が年々増加している中、秋の爆弾低気圧により定置網に甚大な被害を受けたものの、ナマコ、秋サケ漁は昨年並みの漁獲となり、ホタテ養殖漁業は、稚貝の販売増に加え、成貝などの単価高騰により、漁獲高は前年より好調に推移いたしました。

国内情勢では、安倍首相が「ニッ

ポン一億総活躍プラン」を提唱するとともに、アベノミクス「金融緩和」「財政出動」「成長戦略」から「希望を生み出す強い経済」(名目GDP 600兆円)、「夢をつむぐ子育て支援」(出生率1.8への回復)、「安心つながらる社会保障」(介護離職ゼロ)の新たな3本の矢を打ち出し、第2ステージへの移行を宣言しており、この提唱と宣言が美辞麗句で終わらないことを期待しているところであります。

また、地方の人口減少及び東京一極集中の解消を図るため、「まち・ひと・しごと」の地方創生が叫ばれ、当町においても人口減少問題における対策本部や「町民会議」を設置し、人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定するなど、これまで以上に行政・産業・住民が一体となった「まちづくり」の推進が要求される時代となっております。

私ども議会といたしましても、地域のことは地域が責任を持って決める「地域主権」の理念を基本に、町民皆様方の声を広く町政に反映させ、将来に向かって明るく安心して暮らしていただける小平町を創造するため、最善を尽くす決意を新たにしておりますので、今後とも貴重なご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様方にとつて、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ



姉妹都市東京都小平市
市長 小林 正則

新年明けましておめでとうございます。

小平町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

小平町産業まつりにおける親善訪問では毎年、町民の皆様方の心温まる歓迎をいただき感謝をいたしております。

また昨年の小平市民まつりには、関次雄町長様にご訪問いただき、誠にありがとうございました。忙しい日程の中、町長様をはじめ町議会議員の皆様にも、パレードに参加していただき、まつりを盛り上げることができました。

小平町の新鮮な農産物や海産物は、毎年楽しみにしている方も多く、大変な人気があります。当日は購入のための長い行列ができており、今年も多くの家庭の食卓を賑わせておりました。

さて小平市では、市の活性化のため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2020年度までの

5年計画として策定いたします。今後、間違いなく迎えることとなる人口減少期に備え、人口構造に見合ったまちづくりが必要となります。そのためには多くの課題がありますが、臆せず全力で取り組んでまいります。

小平町の皆様とは、姉妹都市としての絆を深め、交友関係をこれからも末永く続けてまいりたいと願いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、小平町のますますのご発展と、町民の皆様方のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

